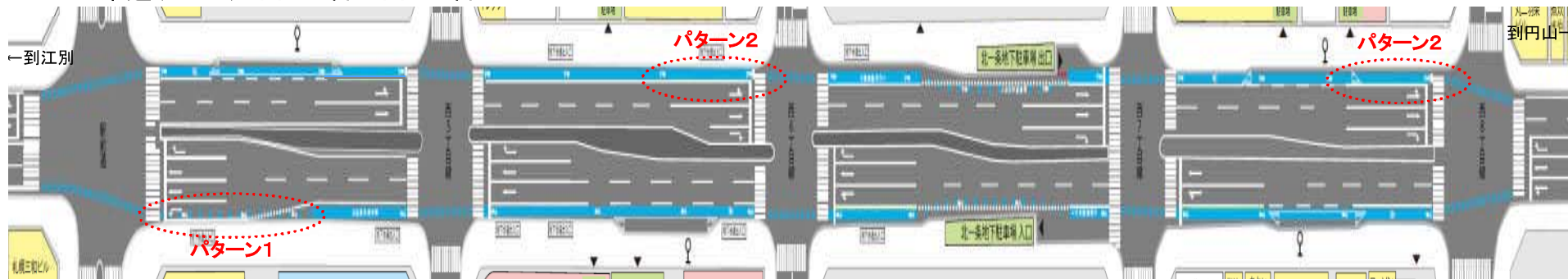


# 社会実験の内容

## 実施区間

■北1条通(R230) 西4丁目～西7丁目

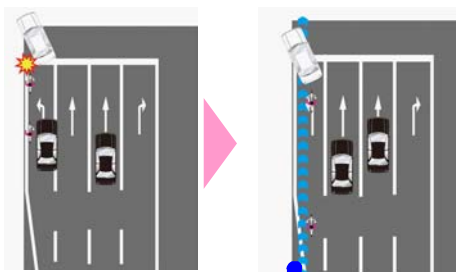


## 左折時における巻き込み防止対策

### パターン1

【実施前】

【実施後】

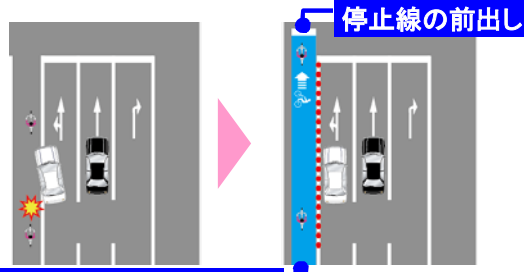


左折レーンでの併走防止対策による巻き込み防止

### パターン2

【実施前】

【実施後】



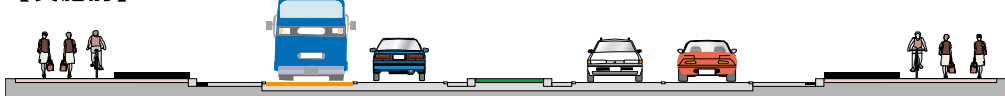
左折車と自転車の接触事故防止を目的としたランブルストリップスの設置

## 効果検証

【検証項目】	【検証方法】
ー交通への影響ー ・実施区間および周辺路線における交通流の変化 ・自転車の車道走行率 ・自動車への影響	・交通量調査(自転車、歩行者、自動車) ・走行速度調査(自動車)
ー安全性ー ・交差点部の運用状況(安全性の検証) ・利用者安全性の向上	・走行軌跡調査(自動車、自転車、歩行者) ・利用者アンケート調査(歩行者、自転車利用者)
ー今後に向けてー ・本格運用に向けての課題	・交通事業者ヒアリング調査

## 定規図

【実施前】



【実施後】



車道路肩部のカラー舗装による明示(自転車走行指導帯)

※ランブルストリップスとは、舗装路面にカマボコ状の凹型を連続して配置することにより、その上を通過する車両に対し振動や音を発生させ、ドライバーに車線を逸脱したことを警告する交通事故対策です。